

2023年11月28日

仙台市長 郡和子 殿

宮城県社会保障推進協議会

会長 岩倉 政城

全日本年金者組合宮城県本部

委員長 芳賀 芳昭

敬老乗車証負担額の維持を求める要請書

謹啓 時下、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より高齢者福祉へのご尽力に感謝申し上げます。

さて、仙台市敬老乗車証制度の見直しについて、仙台市が自己負担の割合を25%に引き上げる方針を固め、早ければ2024年10月に実施との方針が大きく報道されました。

しかし、制度対象となる70歳以上の仙台市民は、世界的な原油価格・物価高騰や新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、年金額は3年ぶりの増額されたもの物価の上昇には追いつかず、実質的な価値は目減りしているのが現状であり、直接生活に結びついている高齢者福祉制度の一つとなっている今回の制度見直しは、どの視点から見ても高齢者の生活を萎縮させている制度となっています。

前回改正時には「市立病院に通院するのにバスと地下鉄を使っていたが、直通バスで仙台駅に行き、そこから市立病院まで歩いている、天候が悪い日は大変だ」「通院を減らした」「ボランティアの回数を減らした」など様々な意見が私たちに寄せられました。

この制度改正議論に際し、現在の高齢者の実態を踏まえず、市財政を優先し足早に制度改正を進める仙台市政には憤りを覚える市民も少なくありません。

敬老乗車証の自己負担額を増やし利用者が減るということになれば、高齢者の通院・福祉施設の利用・買い物・ボランティア活動への参加などを停滞させ、ひいては生活意欲を喪失させ、介護や病気の予防に支障をもたらし、高齢者の引きこもりを促進するものになりかねない状況をもたらすということになりかねません。

今日の高齢者生活を勘案すれば、高齢者福祉予算を増やし、高齢者人口増に見合う予算額にして、負担額の軽減を求めるものです。

つきましては、来年秋の利用者負担増となる制度改正実施は再度検討するなどの英断をなされ、また、交付対象者の年齢引き上げなどの敬老乗車証の改訂を提案なされないよう強く要望いたします。

以上

2023年12月26日

仙台市長 郡和子 殿

宮城県社会保障推進協議会

会長 岩倉 政城

全日本年金者組合宮城県本部

委員長 芳賀 芳昭

新日本婦人の会宮城県本部

会長 佐々木ゆきえ

拙速な利用者負担増ありきの制度改正を止め 敬老乗車証負担額の維持を求める要請書

謹啓 時下、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より高齢者福祉へのご尽力に感謝申し上げます。

さて、仙台市敬老乗車証制度の見直しについて、11月28日に要望書を提出しました。その後の市民向け説明会には7カ所で開かれましたがわずか89名の参加にとどまり、「反対一色」の説明会になったとの報道があるなかで、仙台市は年明け1月10日に老人福祉専門分科会で方針決定し、2月9日開会の仙台市議会に2024年10月からの利用者負担増となる条例提案をしようとしています。

今回の住民説明会参加者数を鑑みれば、説明会周知期間・周知方法にも問題が残り、利用者に寄り添った丁寧な説明会にはほど遠く、来年秋実施を前提に進めている事は明らかであり、高齢者に対する重要な施策にかかわらず十分な理解が得られていないのが現実です。

説明会での参加者からの意見からも、この制度改正議論に際し、現在の高齢者の実態を踏まえ、市財政を優先し足早に制度改正を進める仙台市政には憤りを覚える市民も少なくありません。

敬老乗車証の自己負担額を増やし利用者が減るということになれば、高齢者の通院・福祉施設の利用・買い物・ボランティア活動への参加などを停滞させ、ひいては生活意欲を喪失させ、介護や病気の予防に支障をもたらし、高齢者の引きこもりを促進するものになりかねない状況をもたらすということになりかねません。

今日の高齢者生活を勘案すれば、高齢者福祉予算を増やし、高齢者人口増に見合う予算額にして、負担額の軽減を求めるものです。

つきましては、来年秋の利用者負担増となる制度改正実施は再度検討するなどの英断をなされ、また、交付対象者の年齢引き上げなどの敬老乗車証の改訂を提案なされないよう再度強く要望するものです。

以上

仙台市長 郡 和子 殿

要 望 書

錦ヶ丘連合自治会

仙台市長 郡 和子 殿

愛子観光バスで「敬老乗車証」の利用を可能とする施策を求める要望書

日頃より市政発展へのご尽力に心から感謝申し上げます。

市におかれては今般、70歳以上の市民の外出を支援する敬老乗車証について、将来にわたって持続可能な制度とするために利用者の負担割合を10%から25%に引き上げるとともに、チャージ施設の増設等の利便性向上を図る方針を示し、現在、市民の意見を聞くパブリックコメントを実施されております。

この敬老乗車証について、錦ヶ丘地区においては市中心部とつながる市営バスの便数が少なく、地下鉄駅もない一方、愛子観光バス株式会社が運行する路線バスには読み取り機器が設置されていないことから、「利用したくとも利用することができない」という状況が続いてきました。

今年夏に、当連合自治会で地域公共交通に関する住民アンケートを実施したところ、市営バスの利用者は各自治会で1～2割程度だったのに対し、愛子観光バスの利用者は4～6割に上り、地域住民の移動が同バスによって支えられていることが改めて浮き彫りになったところであります。

当連合自治会では、過去に何度も、愛子観光バスで敬老乗車証を利用できるようにしてほしいとの要望を市に対し行ってきましたが、残念ながら実現せずに今日に至っております。比較的若い世代が多かった錦ヶ丘も、分譲開始から30年以上が経過し高齢化が進んでおり、高齢者の健康づくりのみならず、運転免許証の返納を推進する交通安全の観点からも、敬老乗車証のニーズは日増しに高まっております。

一方、地域の暮らしにとって欠かすことのできない愛子観光バスは、燃料価格の高騰や運転士不足など、厳しい経営環境の中でも、地域のために運行を続けて下さっており、読み取り機器の導入などの新たな負担をお願いするのは難しい状況だということは理解しているところです。

つきましては、現在、敬老乗車証の負担増や利便性向上が検討されていることを踏まえ、改めて下記の施策の早期実施を、当連合自治会の総意として強く要望します。

記

一、愛子観光バスでも「敬老乗車証」に相当する支援策の利用を可能にしてください。

一、制度の導入に当たっては、運行会社に負担がかからないよう配慮してください。

以上

令和5年12月26日

錦ヶ丘連合自治会長

小倉 薫

錦ヶ丘セントラル自治会長

阿子島 章子

錦ヶ丘五丁目自治会長

佐々木 幸志

錦ヶ丘一丁目自治会長

高橋 雄

錦ヶ丘六丁目自治会長

龍田 和幸

錦ヶ丘二丁目自治会長

菊地 麻紀

錦ヶ丘七丁目自治会長

関本 岳臣

錦ヶ丘三丁目自治会長

山内 潔

錦ヶ丘八丁目自治会長

安野 英彦

錦ヶ丘四丁目自治会長

武田 巖

錦ヶ丘九丁目自治会長

船越 友典

「参考資料」

■錦ヶ丘世帯数推移 愛子観光バス運行開始年（H16年）20年間で世帯数は5倍の増加

単位：世帯数

住民基本台帳（各年4月1日現在）より

H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
155	189	216	256	285	302	365	393	454	534	592	678	863	1,036	1,212	1,370
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
1,493	1,637	1,739	1,874	2,072	2,184	2,299	2,419	2,539	2,659	2,745	2,828	2,875	2,938	3,021	

錦ヶ丘世帯数推移



■錦ヶ丘人口推移 愛子観光バス運行開始年（H16年）20年間で人口は5倍の増加

単位：人口

住民基本台帳（各年4月1日現在）より

H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
482	615	684	790	864	924	1,038	1,105	1,248	1,479	1,651	1,989	2,521	3,037	3,576	4,091
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
4,455	4,948	5,268	5,698	6,288	6,697	7,105	7,476	7,766	8,077	8,452	8,650	8,792	8,899	9,032	

錦ヶ丘人口推移



■錦ヶ丘高齢者数

住民基本台帳（各年4月1日現在）より

単位：人口

高齢者数（65歳以上）

1,065人

	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
0-14歳	2,136	2,254	2,293	2,300	2,364	2,336	2,310	2,235	2,146
15-64歳	4,250	4,464	4,619	4,863	5,167	5,363	5,483	5,621	5,821
65歳以上	715	779	823	874	921	951	999	1,043	1,065
合計	7,101	7,497	7,735	8,037	8,452	8,650	8,792	8,899	9,032

「参考資料1」

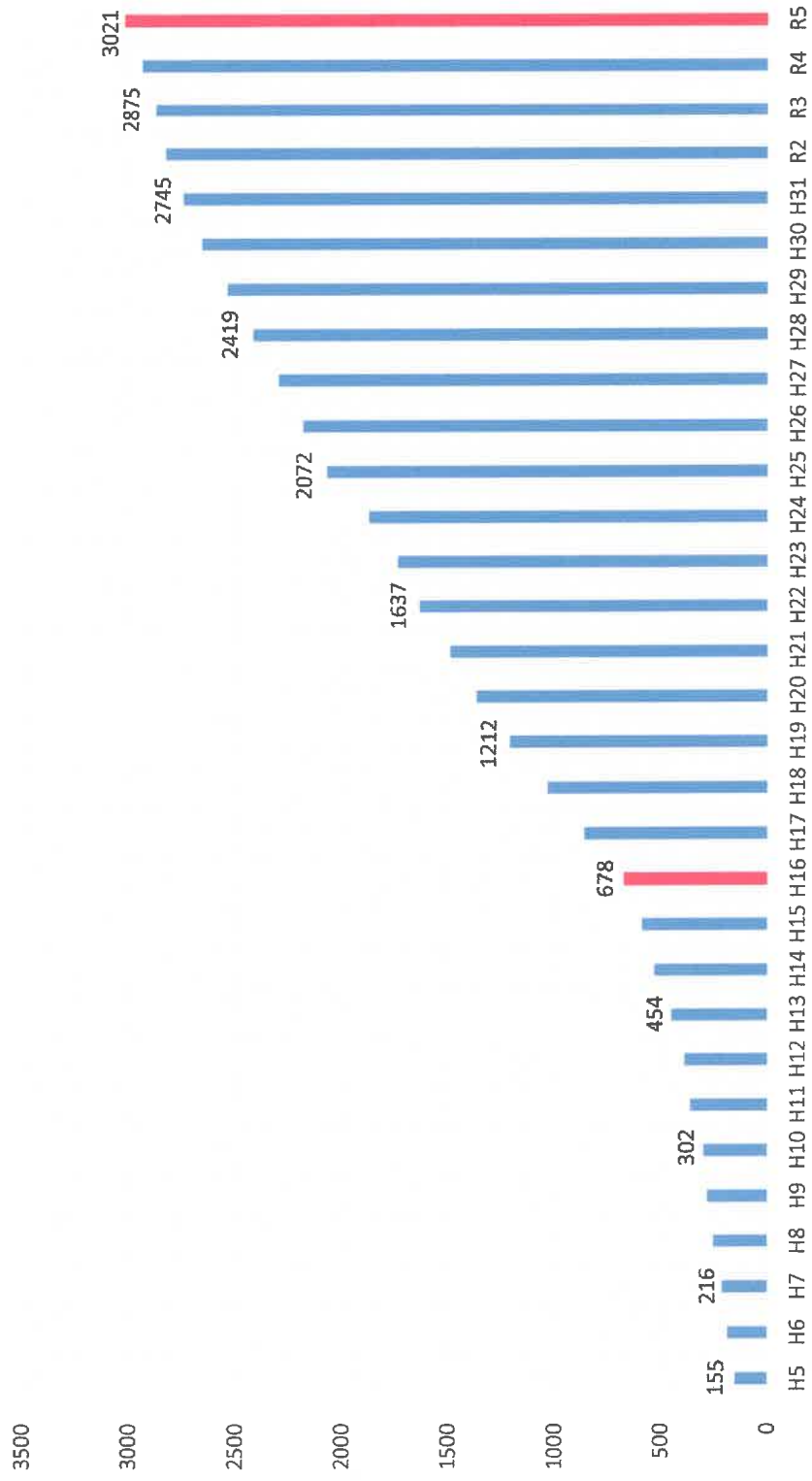
住民基本台帳（各年4月1日現在）より

■ 錦ヶ丘世帯数推移 愛子観光バス運行開始年（H16年） 20年間で世帯数は5倍の増加

	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
	155	189	216	256	285	302	365	393	454	534	592	678	863	1,036	1,212	1,370
H21		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	単位
	1,493	1,637	1,739	1,874	2,072	2,184	2,299	2,419	2,539	2,659	2,745	2,828	2,875	2,938	3,021	世帯

世帯

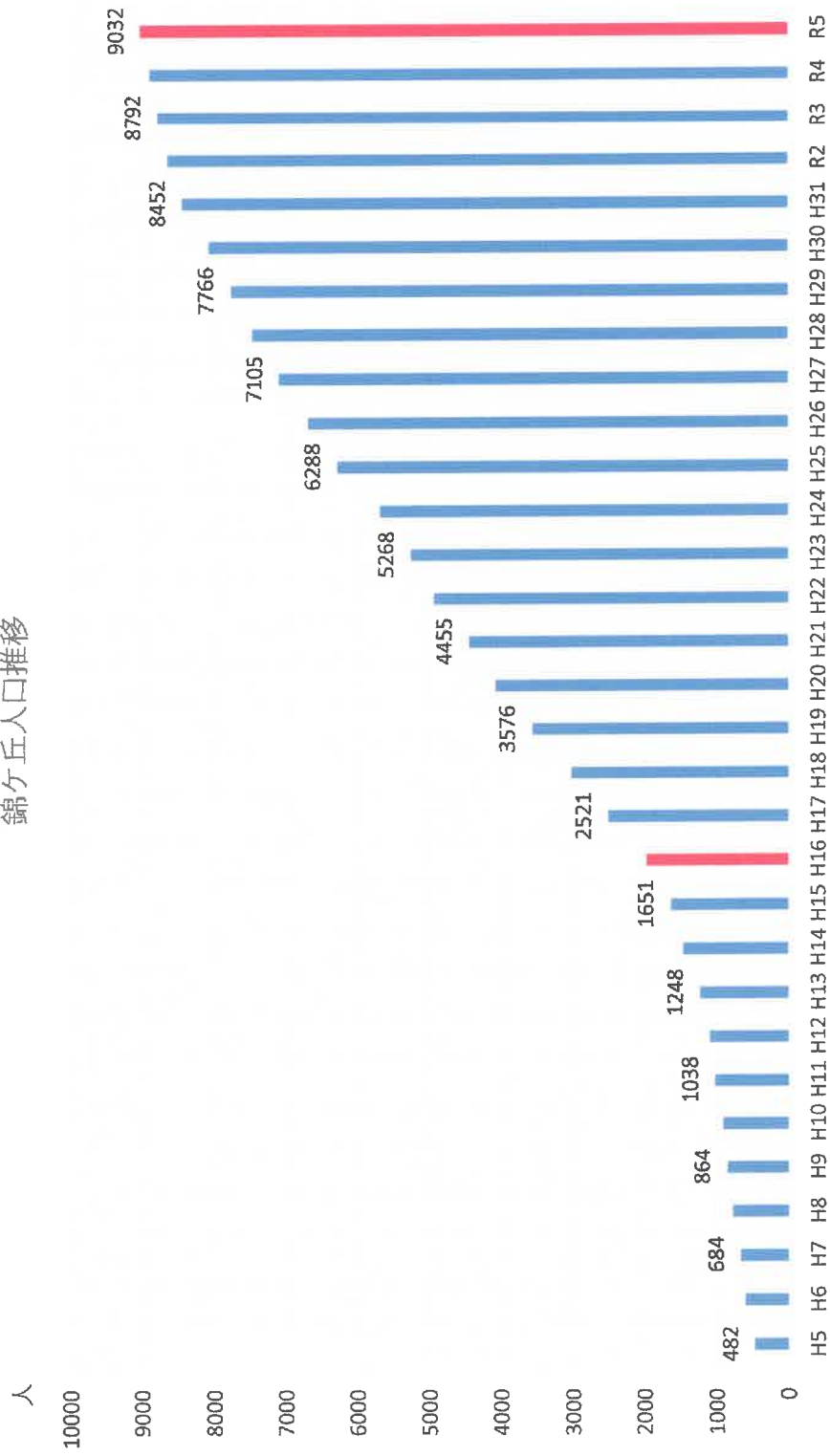
錦ヶ丘世帯数推移



■ 錦ヶ丘人口推移 愛子観光バス運行開始年（H16年） 20年間で人口は5倍の増加

H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
482	615	684	790	864	924	1,038	1,105	1,248	1,479	1,651	1,989	2,521	3,037	3,576	4,091
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	単位
4,455	4,948	5,268	5,698	6,288	6,697	7,105	7,476	7,766	8,077	8,452	8,650	8,792	8,899	9,032	人

錦ヶ丘人口推移



「参考資料3」

■ 錦ヶ丘高齢化率推移

住民基本台帳（各年4月1日現在）より

	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
0-14歳	2,136	2,254	2,293	2,300	2,364	2,336	2,310	2,235	2,146
15-64歳	4,250	4,464	4,619	4,863	5,167	5,363	5,483	5,621	5,821
65歳以上	715	779	823	874	921	951	999	1,043	1,065
計	7,101	7,497	7,735	8,037	8,452	8,650	8,792	8,899	9,032
高齢化率	10.1%	10.4%	10.6%	10.9%	10.9%	11.0%	11.4%	11.7%	11.8%

錦ヶ丘高齢化率推移

